

## COOPトリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

団体名	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン
連絡先	(団体電話)070-5328-4208 (団体 FAX)022-774-1576 (団体 e-mail)soup@ableart.org (団体ホームページ)http://soup.ableart.org/
代表者名	柴崎 由美子 (役職)代表理事 / 事務局長

## 1. 助成事業報告

事業名	商品品質表示・パッケージ勉強会
目的	<p>福祉施設では、利用者の持つ力を活かした商品づくりや、一般市場でも通用するパッケージづくりに限界を感じている所も多いのが現状です。また、手作りで丁寧に制作されている商品でも、品質表示にバラつきが見られ、品質表示が不足している事で取引先が限られ、商品価値を伝えられていない場面もみられます。</p> <p>福祉施設のみで商品やパッケージを企画して開発を行っていくこと、品質表示を学ぶことには人的にも資金的にも限界があります。しかし、定期的に勉強会を行うことで各団体とのネットワークが生まれ、専門家と繋がり商品の完成度を上げることで、障害のある人の表現の可能性や多様性を発見し、生きがいややりがいをつくり、商品の力で勝負するものづくり、工賃アップを目指すことは大変重要です。</p> <p>当団体は2013年から6年間、自主事業として宮城県内の福祉施設とともに「せんだいクラシック・フェスティバル」に期間限定ショップを出展してきました。初期に勉強会に参加し商品開発を支援した団体を中心に、売上は次第に伸びて、この2016-18年では3日間で平均35万円になりました。しかし、新しく参加を希望する施設には、商品力向上の実践力は乏しく、施設各々の売上には差が生じています。一方、2019年度は2会場での販売の機会を得て、新たに施設で生産した焼き菓子を音楽にあわせてパッケージ提案することで、約62万円の売上を達成しました。しかしここでも、残念ながら品質表示や商品パッケージが不十分なために取扱いができない商品も少なくありませんでした。</p> <p>そこで、このたびの申請により、当団体は関係団体に呼びかけて、改めて昨今の法令に従った品質表示のあり方と、また当団体の特性を生かしてパッケージのデザイン力をアップするための勉強会を実施します。これにより、障害のある人たちの生き甲斐や工賃アップに少しでも貢献し、また志ある団体とのネットワークの強化や持続をはかっていきたいと思っております。</p>

<p>実施内容</p>	<p>参加対象:福祉施設職員等 【全体】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 品質表示勉強会(1回)オンライン</li> <li>2. 雑貨商品改善勉強会・基礎編(全3回)オンライン</li> <li>3. 雑貨商品改善勉強会・実践編(全3回)オンライン</li> <li>4. トライアル販売会の実施</li> </ol> <p>【詳細】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 雑貨商品の品質表示勉強会(1回) 2020年6月24日(水)13:30~15:00 講師:板垣ユカリさん(MD 本部リピーング&amp;フードディビジョンセントラルバイヤー) 参加 11 団体 1 個人 雑貨や生活用品、食品の「品質表示」に関する勉強会を実施。コロナ禍で講師は当団体の東京事務局からオンラインで勉強会を実施。参加福祉施設の職員・利用者も、それぞれの福祉事業所からオンライン参加し品質表示について基礎から学んだ。 * アンケート①別添(データ)</li> <li>2. 雑貨商品カイゼン勉強会(全3回) 2020年8月21日(金)、9月4日(金)、9月25日(金)15-17時 講師:終 伸江さん(株式会社ダブデビ・デザイン代表取締役) 参加 10 団体 1 個人 全国的に福祉施設商品の改善を提案し実績をつくっているデザイナー(千葉在住)を講師として選びオンラインで学びの時間をもった。ブランディング、マーケティング、セールスの基本を学び、商品を開発・改善。また催事名やコピーライトの実践研修も行った。 * 2. アンケート②別添(データ)</li> <li>3. 雑貨商品カイゼン実践編(全3回) 2020年10月23日(金)、11月27日(金)、12月18日(金)15-17時 参加 9 団体 1 個人 学びを実際の商品試作に落とし込み改善を繰り返した。並行して、販売会に向けて「広報・運営チーム」「展示デザインチーム」「販売管理チーム」に分かれて実務を相談し、分担しながら準備した。</li> <li>4. ひだまりのギフト展 2021年1月27日(水)-3月13日(土) 小物と焼菓子のお店「エフブンノイチ」(仙台市青葉区) 勉強会を通し学んだことを活かす販売活動のトライアル。アート&amp;クラフト、バレンタイン&amp;ホワイトデーのスイーツを全 14 団体個人で実施。メディア掲載多数となり、新規のお客さまを得て福祉施設の売上に貢献することができた。 * アンケート③別添(データ)</li> </ol>
<p>開始から終了までの流れ</p>	<p>2020年 4月 「エフブンノイチ」協働運営団体、講師候補者勉強会に向けた打合せ 5月 参加候補団体絞り込み、オンライン会議参加の準備 6月 品質表示・商品パッケージ勉強会</p>

	<p>7月 「せんだいクラシック・フェスティバル」が中止となったため、販売会 2 種を 1 種に変更し、勉強会を3回増やす計画に変更        8-9月 勉強会基礎編を実施(3回)        10-12月 勉強会実践編を実施(3回)、催事準備        2021年        1-3月 トライアル販売会、売上報告、成果の検証</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、販売会などが中止され福祉施設の売上は激減していた。苦境を転じて、オンライン会議システムを活用し勉強会を実施したことで、参加者(利用者・職員)に情報交換の機会、学びの時間、少し先の未来への期待が生まれた。</li> <li>・福祉施設の商品のコンサルティングに実績のある講師(東京、千葉)が、オンラインだからこそ参加できた。全7回のハードな内容ではあったが、参加者それぞれに学びの体験が生まれた(アンケート参照)。</li> <li>・オンライン開催にしたことで、石巻市や大崎市の福祉施設が参加できた。仙台会場の場合の往復の時間と旅費が浮いたと好評だった。</li> <li>・福祉施設や参加者個人の環境や経験知により、オンライン参加の環境に差が生じた。しかし、電話や訪問でサポートし、使いこなせるようになった。今後のそれぞれの現場の仕事にもきっと生きると思う。</li> <li>・メディアに多数、催事が紹介され、新たな顧客獲得につながった。</li> <li>・期間を通じた売り上げは約45万円。平時の販売会と比べると決して売り上げは多くないが、会場となったショップとしては一日あたりの平均売り上げは最高値だったという。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トライアル販売会として予定していた「せんだいクラシック・フェスティバル」が中止になった。これにより、福祉施設の販売機会が失われた。</li> <li>・販売会場のオープン時間が平日11時-15時30分という短時間だった。本来は休みである土曜日に出展者が自ら店番を行い運営したが、当番の引継不足や機会の操作不慣れのため、誤差金が生じた。</li> <li>・勉強会のオンライン化には対応できたが、販売のオンライン化には取り組めなかった。管理運営、資金面での課題も多い。</li> </ul>
<p>今後の展望など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期中に東北 TSUTAYA の担当者の訪問があり、催事を気に入り2021年夏展開のポップアップショップ出店につながった。有志で販売会を運営する。</li> <li>・せんだいクラシック・フェスティバル 2021が開催されれば、ターゲットを絞った商品の開発・出展が可能になる。</li> <li>・勉強会に参加した福祉施設から、毎年、1-3月のバレンタイン＆ホワイトデーのギフトシーズンにあわせ、「ひだまりのギフト展」を開催したいとの希望が生まれた。</li> </ul>

## 2. 助成金使途報告書

### (1) 収入の部(助成の対象となった事業の分のみ)

確保した資金内容	金額(円)	備考
みやぎスマイル基金助成金	300,000	
自己負担金	64,651	人件費、事務管理費
合計	364,651	

### (2) 支出の部(助成の対象となった事業の分のみ)

費目	内容	予算額	実支出額	助成金からの支出額	領収書 No.
講師謝金	勉強会講師代 20,000円×3回	90,000	60,000	60,000	A1
	"		60,000	60,000	A2
旅費交通費	講師遠距離	30,000	0	0	オンライン変更
	講師近距離	6,000	0	0	オンライン変更
	事務局駐車場代 1,200円×3回、 1,500円×1回、600円×1回、 1,300円×1回、800円×1回、 400円×1回	8,000	8,200	8,200	B1
消耗品費	ひだまりのギフト展 シール加工代	68,000	3,000	3,000	C1
	ひだまりのギフト展 シール印刷材料費		2,000	2,000	C1
印刷費・ 広報宣伝費	ひだまりのギフト展 チラシ印刷代一式	28,000	10,000	10,000	A2
	ひだまりのギフト展 ポスター印刷代一式		5,000	5,000	A2
	運営・広報業務一式 委託費		30,000	30,000	D1
会場使用料	勉強会会議室利用代	8,000	3,000	3,000	A1
	雑貨商品カイセン企画・ 会場費		3,000	3,000	E1,G3
	冷蔵庫賃借料2か月		40,000	40,000	E2
委託費	ひだまりのギフト展 チラシデザイン	30,000	30,000	30,000	A2
	ひだまりのギフト展 ポスターデザイン		20,000	20,000	A2
	ひだまりのギフト展 原画使用料		5,000	5,000	C1

記録費	写真、テキスト報告	20,000	0	0	
通信運搬費	勉強会用商品送付	8,400	1,050	1,050	G1
	勉強会用資料送付		1,000	1,000	G1
	講師様へ箱+送料		850	850	G2
	勉強会サンプル返送代		970	970	A1,G3
	勉強会参考商品返送代		980	980	G4
	郵送用レターパック代		370	370	G5
その他の費用	振込手数料 220 円 × 2回、275円 × 1回	3,600	715	715	A1,A2,E1
	消耗品費(ガソリン代)		1,771	1,771	H1
	講師様送付資料		1,315	1,315	H2
	オンライン会議システムの使用料		11,880	11,779	H3 101 円自己負担
人件費	調整・管理	92,800	72,000	0	対象外
	経理		4,800	0	対象外
事務局管理費		12,000	0	0	対象外
合計		404,800	364,651	300,000	

\* 用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

\* 収入の合計と支出の合計が一致していることをご確認ください。

### 3. 送付必要書類

- (1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書
- (2) 領収書のコピー(助成金から支出した分のみ)番号を振ってください
- (3) 成果物(活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真※など)  
(※写真は HP に掲載可能なものを送付ください。)

COOPトリプルカード みやぎスマイル基金 助成  
 特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン

「ひだまりのギフト展」メディア掲載一覧

No.	日付	報道機関・取材機関	内容
1	2021/1/29	リビング仙台	イベント告知
2	2021/2/5	石巻日日新聞	取材記事(写真付)
3	2021/2/10	河北新報・夕刊	取材記事(写真付)
4	2021/2/11	河北ウィークリー	イベント告知
5	2021/2/12	朝日新聞	取材記事(写真付)
6	2021/2/22 2021/2/23	47NEWS(地方紙と共同通信) 河北新報・朝刊	取材記事(写真付)

「ひだまりのギフト展」写真





© KASUMI

アナタとワタシをつなぐモノ。

# せだまりのギフト展

2021/1/27 wed — 3/13 sat

小物と焼菓子のお店 エフブンノイチ

※店休日あり。詳細は裏面でご確認ください。



アナタとワタシをつなぐモノ。

# ひだまりの ギフト展

2021/1/27 wed — 3/13 sat

エフブンノイチの扉を開けば、窓辺からのこころよい日の光が、素敵な雑貨やお菓子たちを照らしています。

ここにそろう商品はすべて、障害のある人がつくりあげたものです。

バレンタインとホワイトデー、はなむけと出会い、日頃の感謝とねぎらい。

春が聞こえてくるこの季節に、想いをつなぎ、馳せる、大切なギフトを提案します。

## 出店団体

アトリエソキウス、アート・インクルージョン・ファクトリー、織音、Kamome、希望の星、きゆう、工房しらかば、コッペ、  
仙台もぐらの家、ばれった・けやき宮城野、メルヴェイユ仙台、ワークスペースぼぼ

## 小物と焼菓子のお店 エフブンノイチ

TEL & FAX : 022-796-0215、EMAIL : fbunno1@cap.ocn.ne.jp

宮城県仙台市青葉区錦町1丁目3-3 (旧 神奈川クリーニング錦町店2階)

■営業時間：月～金 11:00～15:30 (ラストオーダー 15:00)  
土 11:00～17:00 (フードなし)

■店休日：日・祝日、2/17

<企画運営> NPO法人エイブル・アート・ジャパン、エフブンノイチ実行委員会

<アートディレクション> ダブディビ・デザイン

<助成> COOPトリプルカードみやぎスマイル基金

<問い合わせ先> 会期や会場について…エフブンノイチ TEL : 022-796-0215

企画内容について …エイブル・アート・ジャパン TEL : 07050416043、EMAIL : soup@ableart.org

エフブンノイチ実行委員会 (コッペ) TEL & FAX : 022-299-1279



※新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、会期や時間に変更になる場合があります。おでかけ前にエフブンノイチ HP や SNS で最新情報をご確認ください。